

福井県

福井県の地球温暖化対策

福井県では、平成20年11月に策定した「福井県環境基本計画」の中で、「福井の美しい環境を守り育てるために全国に先駆けて取り組む10のプロジェクト」を掲げました。このうち、地球温暖化防止に向けた施策として、次の3つのプロジェクトを県民や事業者と共に推進しています。

【環境ふくいCO₂削減貢献プロジェクト】

県内外の個人、法人などから環境貢献のための資金を募り、県内の団体等が実施するCO₂の吸収源対策や削減活動などに活用しています。

昨年度は、里山を再生して広葉樹を植樹する活動や、県が水質などを確認して「ふくいのおいしい水」として認定した湧水地の保全・整備などを支援しました。

【次世代(省エネ)自動車導入推進プロジェクト】

世帯当たりの自動車保有台数が日本一である本県で、運輸部門からのCO₂削減を進めるため、3月に「福井県EV・PHV普及推進マスタープラン」を策定し、5年間で1,500台普及という目標を掲げて普及に取り組んでいます。

これまでに、電気自動車(EV)5台、プラグインハイブリッド車(PHV)1台を公用車に率先導入し、小中学校や保育園での体験乗車など、次世代自動車を活用した環境学習にも活用しています。



電気自動車を活用した環境学習

【ストップ乗りすぎプロジェクト】

家庭から提供された不用自転車150台を整備し、無料のレンタル自転車として駅や観光地で再活用している「みどりの自転車活用運動」、半年間、仲間と楽しみ、工夫しながら自転車走行距離の削減に取り組む「レッツトライ180」など、自動車の走行距離削減につながる様々な県民運動の実施を通じて、自動車に頼りすぎない環境負荷の少ない交通社会の実現を目指しています。



みどりの自転車

福井県安全環境部環境政策課 電話：0776-20-0301

越前市

再びコウノトリが舞う里づくりを目指して

越前市は、福井県のほぼ中央に位置し、1500年の歴史を誇る越前和紙や刃物業界で初めて国の伝統工芸の指定を受けた越前打刀物に代表されるように、古くからモノづくりが盛んな地域であり、固有の地域文化が培われています。近年はハイテク産業の企業が立地し、県下第一位の製造品出荷額を誇る産業都市として発展を続けています。

また、本市の西部地域には、絶滅危惧種のアベサンショウウオやゲンゴロウなどの稀少野生生物が生息する自然環境に富んだ貴重な里地里山で、40年前にはコウノトリが舞い降りた地でもあります。

平成16年にこの西部地区が環境省の「里地里山保全再生モデル事業実施地域」の一つに選定されたことを契機に、住民と行政の協働による活動が活発となり、平成20年に「里地里山保全再生全国フォーラム」、21年には「呼び戻そうコウノトリシンポジウム」などを開催するとともに、無農薬無化学肥料による「コウノトリ呼び戻す農法米」の生産も始まりました。

今年、昭和45年に本市の西部地区にくちばしが折れたコウノトリ「コウちゃん」が飛来して40年目となります。その記念すべき年度がスタートした4月1日に、兵庫県豊岡市で放鳥された2羽のコウノトリが市西部地区に舞い降り、うち1羽が今も本市に滞在しています。



日本の里100選に選ばれた市西部地区

コウノトリが本市に定住できる環境づくりを推進するため、本年11月の「コウノトリ『コウちゃん』飛来40周年記念事業」、来年3月の「全国有機農業の集いin福井県越前市」を開催し、年度末には「コウノトリが舞う里づくり構想」を策定することとしています。

引き続き里地里山の保全再生や環境調和型農業の取り組みを推進し、豊かな自然や歴史・文化などの地域特性を生かした、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な都市を目指してまいります。



本市西部に舞い降りたコウノトリ

引き続き里地里山の保全再生や環境調和型農業の取り組みを推進し、豊かな自然や歴史・文化などの地域特性を生かした、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な都市を目指してまいります。

越前市産業環境部環境政策課 電話：0778-22-5342